

グリーンインフラの普及啓発を目的とするモデル雨庭事業に係る選定要領

1 目的

この要領は、グリーンインフラの普及啓発を目的とするモデル雨庭事業において、協力者の応募が募集想定件数を上回った場合に、応募者を公平かつ適正に選定するため、選定の基準及び方法を定めるものとする。

2 選定

応募者の提出書類の確認は、事務局及び選定委員において行うものとし、二段階選定により実施する。

(1) 第一次選定：書類確認

第一次選定は、事務局において応募内容を確認し、次に掲げる選定項目、配点により書類確認を行い、評価合計点が上位の5件程度を第二次選定対象者として選定する。

- 1) 地域特性 (6点)
- 2) 立地条件 (16点)
- 3) 協力体制 (13点)
- 4) 加点項目 (15点)
- 第一次選定配点 (50点)

※第一次選定の選定項目及び評価の基準は別表1のとおり。

※雨庭の施工及び浸透調査に必要な動線が確保されていない場合は、事業の実施が困難であるため選定の対象外とする。

(2) 第二次選定：総合評価

第一次選定を通過した応募者については、選定委員において、流域対策上の効果や普及啓発の観点等を考慮し、最終判断を行うものとする。

(3) 選定体制

選定委員は次の者で構成する。

- 1) 委員長：土木部豪雨対策推進担当参事
- 2) 委員：土木部豪雨対策・下水道整備課長
- 3) 委員：土木部豪雨対策・下水道整備課豪雨対策担当係長
- 事務局：豪雨対策・下水道整備課

3 その他

(1) 提出した書類に虚位の記載をした応募者、若しくは選定の公平性を損なう行為を行った応募者は、失格とする。

(2) 選定されなかった者の申請書類は、返却しない。なお、提出された申請書類は、応募者に無断で他の目的以外で使用することはない。

別表1

	選定項目	点数	項目ごとの点数
地域特性	流域対策推進地区又は湧水保全重点地区に該当するか	2	6
	流域対策上有効な地域に位置しているか（野川流域、呑川流域）	2	
	雨水流出抑制施設選択図における浸透施設の設置に際して調査が必要な区域内でない	2	
立地条件	雨どいからの集水および導水が可能な条件を有しているか	7	16
	雨庭の施工及び浸透調査を実施するための車両を駐車できるスペースが確保できるか	2	
	駐車スペースから設置箇所までの距離が施工上支障ないか	2	
	設置予定箇所に埋設物等の支障がないか	5	
協力体制	浸透調査への継続的な協力が見込まれるか	5	13
	メール等による連絡調整が可能な体制が確保されているか	2	
	打合せ（来庁等）への対応が可能であるか	2	
	普及啓発に係る広報への協力が得られるか	2	
	場所特定やインタビュー等の広報対応が可能であるか	2	
加点項目	施工前後における景観の変化が期待できるか	5	15
	本事業の目的を理解し、適切な対応が見込まれるか	5	
	現在の庭の維持管理が適切に行われているか	5	
合計		50	50